

⑧身近な生き物の生育環境の保全・創造

■多自然型護岸の延長（累積値） 生態系に配慮した自然環境との共存・調和を図るよう配慮した工法により、護岸整備を実施した総延長を表しています。	平成 7 年度	3,500.0m
	同 13 年度	14,094.3m
	同 14 年度	16,314.2m
	同 15 年度	17,621.6m
	平成16年度	18,346.6m

⑨歴史的文化的遺産の継承

■都市景観重要建築物等の指定数（累積値） 川越の都市景観を形成している重要な歴史的建造物の指定数を表しています。平成16年度は、新たに6件を指定しました。	平成 7 年度	0件
	同 13 年度	25件
	同 14 年度	39件
	同 15 年度	52件
	平成16年度	58件
	目標値	100件以上

⑩都市のうるおいの創造

■電線類の地中化延長（累積値） 電線類の地中化工事を実施した区間の総延長を表しています。	平成 7 年度	2,563m
	同 13 年度	3,977m
	同 14 年度	5,187m
	同 15 年度	5,587m
	平成16年度	6,061m
	目標値	7,000m以上

⑪環境教育・学習の推進

■子どもエコクラブ登録数（単年度値） 子どもエコクラブに登録している団体数です。	平成 7 年度	2団体
	同 13 年度	6団体
	同 14 年度	3団体
	同 15 年度	5団体
	平成16年度	19団体

⑫パートナーシップの形成

■環境活動団体数（民間団体数・単年度値） 「かわごえ環境ネット」に参加している、環境活動団体数により把握しています。	平成 7 年度	—
	同 13 年度	30団体
	同 14 年度	30団体
	同 15 年度	32団体
	平成16年度	33団体

第3章

市民・事業者の環境への取り組み状況

①かわごえ環境ネットが実施した協働事業

市民・民間団体・事業者・行政のパートナーシップ組織「かわごえ環境ネット」の活動を掲載しています。

②川越環境保全連絡協議会が実施した協働事業

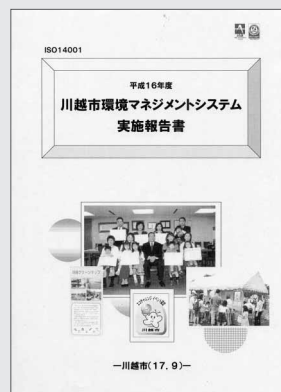
川越市内事業者の環境行動調査（かわごえ環境ネットと川越環境保全連絡協議会で実施）を分析し、ISO14001やエコアクション21が環境配慮の有力なツールであることなど、事業者の環境に対する取り組みを掲載しています。

「平成16年度川越市環境マネジメントシステム実施報告書」の公表

川越市は、平成11年に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、環境問題の解決に向けた取り組みを実践しています。

例えば紙・ごみ・電気削減、環境に影響を与える設備の適正管理、公共工事における環境配慮、環境関連事業の推進など市役所がかかわる幅広い分野で環境配慮に努めています。

同報告書は、平成16年度の取り組み結果をまとめたものです。新規事業の実施結果や市内で認証取得した事業所、県内市町村の取り組み状況も紹介しています。また、川越市地球温暖化対策実行計画の実施結果も合わせて掲載しています。



各報告書は、10月3日(月)から環境政策課（本庁舎5階）・公民館・出張所で配布します。また、川越市ホームページでも詳細をご覧になれます。

10月31日(月)まで、報告書に対する意見・提案を募集しています。

<http://www.city.kawago.saitama.jp>

問い合わせ

「平成17年版かわごえの環境（第8号）～川越市環境基本計画年次報告書～」＝環境政策課環境推進係・TEL内線2613▶「平成16年度川越市環境マネジメントシステム実施報告書」＝環境政策課節電・環境マネジメント担当・TEL内線2612・FAX225-9800

Eメール=kankyoseisaku@city.kawago.saitama.jp

川越市の環境診断

「平成17年版かわごえの環境（第8号） ～川越市環境基本計画年次報告書～」の公表

平成10年3月に策定した川越市環境基本計画を進行管理するため、12の体系から54項目の環境指標を定め、うち25項目については目標値を設定しています。かわごえの環境（第8号）では、平成7年度（基準年度）から同16年度までの環境の現状・保全・創造に関する取り組み、進ちょく状況等を公表しています。主な内容は、下記のとおりです。

なお、数値については、平成7年度（基準年度）と同13年度から同16年度までを掲載しています。

第1章

川越市環境基本計画の概要

- 計画の目的
- 目標年度
- 対象とする環境の範囲
- 各主体の役割と責務
- 望ましい環境像
- 環境目標

第2章

環境の現状と主な施策の実施状況

■①～⑫の体系（54項目）

①地球環境問題への取り組み

■住宅用太陽光発電システム設置数（累積値）	平成 7 年度	4件
	同 13 年度	284件
	同 14 年度	433件
	同 15 年度	538件
太陽光発電システムを設置し、東京電力㈱と売買契約を締結している住宅の数です。	平成16年度	687件
	目標値	1,000件以上

②資源の有効利用とリサイクルの推進

■リサイクル率（単年度値）	平成 7 年度	13.9%
その他プラスチック製容器包装類の分別、焼却灰の再資源化事業等により、目標値を4ポイント上回りました。	同 13 年度	18.8%
	同 14 年度	20.0%
	同 15 年度	20.5%
	平成16年度	24.1%
	目標値	20%以上

③人と環境にやさしい交通体系の確立

■沿道の一酸化炭素濃度（単年度値）	平成 7 年度	2.1ppm
	同 13 年度	1.5ppm
	同 14 年度	1.5ppm
	同 15 年度	1.1ppm
仙波測定局における一酸化炭素濃度。引き続き、平成7年度レベルを下回りました。環境基準値は、10ppm以下です。	平成16年度	1.1ppm
	目標値	2.1ppm以下

④有害化学物質の拡散防止

■水質環境基準適合割合（健康項目・単年度値）	平成 7 年度	100%
	同 13 年度	100%
	同 14 年度	100%
	同 15 年度	96%
カドミウム・鉛など26項目について定められた「人の健康の保護に関する環境基準」のうち、2地点において環境基準値を超過しました。	平成16年度	96%
	目標値	100%

⑤身近な水辺環境の保全

■水質環境基準適合割合（水素イオン濃度・単年度値）	平成 7 年度	97%
	同 13 年度	96%
	同 14 年度	94%
	同 15 年度	100%
平成16年度は、計9回環境基準値を超過しました。	平成16年度	92%
	目標値	100%

⑥^{ゆうすい}湧水の復活（水の循環）

■家庭雨水貯留槽設置数（累積値）	平成 7 年度	—
	同 13 年度	208基
	同 14 年度	240基
	同 15 年度	262基
雨水対策施設設置補助金を交付した浸透ますおよび貯留槽の合計設置数です。	平成16年度	302基
	目標値	1,000基以上

⑦武蔵野の面影を残す自然的環境の保全

■市民の森など法令等による指定面積（累積値）	平成 7 年度	1,066,705㎡
	同 13 年度	1,063,047㎡
	同 14 年度	1,043,913㎡
	同 15 年度	1,054,726㎡
市民の森・保存樹林・ふるさとの緑の景観地・ふるさとの森の合計面積です。	平成16年度	991,919㎡
	目標値	1,700,000㎡以上